

事業所名 音楽療育どれみ

保護者等数(児童数):36人 回収数:31人 割合:86%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	30					お子様の個々の特性に配慮した活動が出来るように室内を整備している。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	23	5		1		法定に基づき適正な職員の配置を行っている。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	21	4	1	3	・見学の時以来、教室には入っていないためわからない。	利用児童が分かりやすいように、また安全に過ごせるように、部屋の配置をしている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	28			2	・見学の時以来、教室には入っていないためわからない。	・安全・清潔に過ごせるように、環境整備を行っている。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	27	2		1	・担当の先生が息子のことをよく考えてくれていると思う。	・お子様と保護者様のニーズやお子様の特性を考慮し、支援計画を作成している。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	26	2		2	・計画を共有できていない。	・ご本人及び保護者様のニーズを基に支援計画書を作成し、療育プログラムを立案し、プログラムの内容について保護者様と共有できるよう丁寧に説明を行うことを実践しています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	26	2		2		児童支援計画に沿った支援プログラムを職員と作成し、実際の支援を行っている。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	24	3		3		個々の状況に応じて、活動プログラムが固定されないように職員で話し合い多彩なプログラムにしている。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7	4	4	15	・療育ではない。	音楽会を通して地域のお子様との交流の場を設けている。
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	29	1				契約時に、納得理解がされるように丁寧な説明を心掛けている。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	28	1	1		・子どもがいるとなかなかゆっくり説明を聞けない。	保護者様とお会いできる時間を設けて、丁寧に説明できるように今後もより一層努力をしていく。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	10	5	4	11	・知らなかった。	家族支援について、事業所内で出来ることを周知し、さらに、気軽に家族支援が出来るようにしたい。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	26	3		1		公式lineのやり取りや、HAGシステムを使いお子様の状況をお知らせしている。また、実際にお会いした時に保護者との状況確認・交換をし共通理解を行っている。
適切な 支援の 提供	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	23	4	2	1	・面談はない。	定期的なモニタリングを行うので、その時が保護者との面談の機会となっており、悩み相談事に対し、助言も行っている。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	7	2	4	17	・知らない	保護者会は、開催されていますが参加者が少ないため、多くの保護者様が参加出来るような、日時を設定をしたいと思う。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	24	4		2	・先生はいつも話を聞いてくれる。	いつでも、保護者様が相談できるように、対応の体制整備は出来ている。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	25	2		3		利用児童や保護者様との日頃からの関係性を大切にしている。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	25	2		3		随時、ホームページやSNSへの情報を掲載し発信している。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されている	27	2		1		十分に配慮するように、職員間でも周知徹底をしている。
	非常時 等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	18	3	1	8	
21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている		13	3	2	12		年に2回、避難訓練を行っている。
満足 度	22 子どもは通所を楽しみにしている	28	1	1		・行くというときもあれば、嫌と言う時もある ・いつも楽しんで帰ってくる。ありがとうございます。	楽しんで通って下さるように、療育内容を常に工夫している。
	23 事業所の支援に満足している	28	2				利用者の皆様が、療育に来てよかったとご満足いただけるよう、様々な御要望に耳を傾け、また職員の資質向上のためにも勉強の場の提供をしていきたいと思う。

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。